



竹久夢二

暮らしたを  
彩る  
小さな美

大正ロマンの  
かわいいデザイン

Takehisa Yumeji  
Museum



2018  
3.29 木  
6.24 日

大 正ロマンを象徴する画家・竹久夢二（1884-1934）は、日常生活を趣味良く

彩るためのデザインも手掛け、日本のファンシーショップの先駆けともいえる「港屋絵草紙店」を開店し、「かわいい」をコンセプトにした商品づくりに心を傾けました。

本展では港屋絵草紙店で人気を誇った千代紙をはじめ、着物小物、絵葉書、装幀本など暮らしの中で花開いた、小さくてかわいい夢二図案と装飾の数々を紹介します。

同時開催

竹久夢二美術館セレクション展

※美人画を中心に当館の代表作品を展示します。

担当学芸員によるギャラリートーク  
4/14 ⑤・5/13 ⑥・6/9 ⑦ 午後3時より

◎ 休館日 月曜日

※ただしGWを含む4/24（火）5/6（日）は無休で開館

◎ 開館時間

午前10時～午後5時（最終入館4時半まで）

◎ 入館料

一般900円／大・高生800円／中・小生400円  
※弥生美術館も併せてご覧頂けます。

竹久夢二美術館

〒113-00032 東京都文京区弥生2-4-2

Tel. 03(56889)0462

<http://www.yajoi-yumeji-museum.jp>

1 絵葉書「日本の浅春」一九二九年 2 童謡小曲第十五集一九三〇年 3 新千代紙一九二六年 4 手廻半襟の図案一九二五年 5 「fruit」NOV一九二九年